

令和5年度(初級)知的財産権研修 実施報告

令和6年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)では、令和5年度(初級)知的財産権研修をオンラインで1回、ハイブリッド(オンライン/現地会場)で1回実施しました。
本研修では、地方自治体、政府関係機関、公益法人等において知的財産権に関する業務に従事する職員等を主な対象に、IP ePlat上でのオンデマンド講義の事前受講や当日のオンライン講義の受講により、知的財産制度の理解を深め、業務遂行に必要な基礎知識を学習いただきました。

1. 研修の概要				
(1)日程	第1回		第2回	
	6月6日～8日 (3日間)		11月6日～8日 (3日間)	
(2)開催地	オンライン		ハイブリッド(オンライン/現地会場)	
(3)参加人数	30名		33名	
(4)講師	15名		15名	
2. アンケート結果(回収率: 第1回 97%, 第2回 97%)				
(1)研修全体として	人数	割合	人数	割合
・非常に有意義であった	16名	55%	15名	47%
・有意義であった	12名	41%	15名	47%
・どちらとも言えない	1名	3%	2名	6%
・有意義でなかった	0名	0%	0名	0%
・とても有意義でなかった	0名	0%	0名	0%
・無回答	1名	—	1名	—
(2)主な意見・要望	・知的財産権について実務上の有益性を学べ、かつ、それを初学者にも分かる範囲に凝縮して教授いただけただけのため。 ・先生たちの説明がわかりやすく非常に質の高い講義を受けることができた。 ・講義の内容は、どの先生も面白く集中して最後まで話を聞いた。演習についても様々な意見交換ができて勉強になった。 ・座学講義における情報量はやや多かった印象ではあるが、網羅的に様々な情報を得ることができた。特に最終日のグループ演習では、想像以上に有意義な議論をすることができ、学びを深めることができた。 ・座学で幅広い知識を教わることができただけでなく、グループ演習を最終日にとり入れていただいたことで、知財に対する関心がより高められたと感じたから。			